

## 令和5年度 第2回校内コンプライアンス委員会 議事録

- 1 期 日 令和6年2月21日（水）15:25～15:40
- 2 場 所 多目的学習室
- 3 参加者 学校運営協議会委員  
校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事  
肢体統括主任、安全衛生管理者（養護教諭）

### 4 内 容

#### (1) 令和5年度不祥事根絶に向けた取組について

##### 【副校長】説明

##### ア 人権に係ることについて

- (ア) 人権便りの発行
- (イ) 人権アンケートの実施
- (ウ) 全体研修

- ・生徒指導課がリーダーシップをとって進めている。
- ・人権便りを発行するだけでなく、学年会などで日々の指導に落とし込んでいます。
- ・アンケートの聞き取り方法は、児童生徒に合わせて行っている。
- ・県の人権研修に代表で参加した者が職員全体へ伝達講習を行った。

##### イ 交通安全促進

- (ア) 出張前の「アルコール検知器を用いた目視確認・安全運転への意識づけ」
- (イ) 月刊誌「安全運転しずおか」内の記事紹介

- ・アルコールチェッカーは昨年度から取り組んでいる。令和5年度12月から義務化。アルコールが体の中に入っていないことを確認する取組。
- ・月刊誌はよい記事があるので紹介している。

##### ウ その他

- (ア) 制度の活用と部主事による目配り・気配り
- (イ) 教育委員会からの不祥事案件報告の周知及び「コンプライアンス通信」の配布

- ・教職員について何か気になることがあれば企画会（管理職メンバーが集まる場）での情報共有や、他学部など立場の異なる人が対応するなどしている。
- ・カウンセリングや相談できるところの紹介。
- ・教職員の経験値は様々なため、キャリアステージに合わせた助言などを行っている。
- ・教育委員会から定期的に届く報告等を連絡周知している。

##### エ 令和5年度不祥事件数の報告

- ・今現在の具体的な数字

##### 【養護教諭（衛生管理者）】取組について

- ・不祥事の発生要因として、心身の健康状態が思考力や判断力に影響を及ぼすということがある。そのため、毎月健康管理医が参加して開催している職員安全衛生委員会においても情報を共有し、取組の推進に努めている。

#### (2) 学校運営協議会委員からの感想

##### 【委員D】

当社でも取り組んでいることがあるので紹介をさせていただく。

- ・労災事故が多くあるので、労災・事故・交通違反の事例などを発信することを大切にしている。周知をしている。
- ・メンタルの不調者が多い傾向であるため、産業医が定期的にメンタル不調者や疑い

のある人の面談を行っている。

- 職場に関係することだけでなく、プライベートについても含め、不満や不安を抱えている人が話をすることができる、相談担当役を一人配置している。そういう課を設けている。そこで話を聞いて未然に防げるものがあれば早めに改善できる。
- 社外でも機密保持の相談窓口を設けている。介護や家族の問題を相談できる。相談費用は会社が負担している。
- 新人の社員に対しては、教育的指導ではなく、溶け込みやすくするための相談相手となっている。異動してきた人などは環境が変わると精神的負担や悩みを抱えやすいので、それを改善できるように取り入れている。
- コンプライアンスについては、半年ごとに行う社員の契約更新時に、評価のフィードバックとあわせて指導している。フィードバックの確認時に過去の事例を繰り返さないための確認を行っている。